

平成24年6月八戸市教育委員会定例会会議録

- 1 開催日時 平成24年6月27日(水) 午後1時30分
- 2 場 所 市庁本館3階 議会第1委員会室
- 3 委員氏名
- | | |
|----------|-------|
| 委員長 | 平山 幹雄 |
| 委員長職務代行者 | 岡本 潤子 |
| 委員 | 小柴 一弘 |
| 委員 | 武輪 節子 |
| 教育長 | 松山 隆豊 |
- 4 職員氏名
- | | |
|--------------|-----------|
| 教育部長 | 芝 俊光 |
| 是川縄文館長 | 小林 和彦 |
| 教育部次長兼教育総務課長 | 佐藤 浩志 |
| 教育部次長 | 四戸 康雄 |
| 図書館長 | 津取場 重行 |
| 博物館副館長 | 澤田 多嘉男 |
| 学校教育課長 | 齋藤 信哉 |
| 北地区給食センター所長 | 中里 親弘 |
| 東地区給食センター所長 | 板橋 稔 (欠席) |
| 南郷地区給食センター所長 | 小林 啓作 |
| 教育指導課長 | 嶋脇 郁夫 |
| 社会教育課長 | 船田 泰寛 |
| 是川縄文館副館長 | 前田 美智子 |
| 総合教育センター所長 | 井上 貫之 |
| 市史編纂室長 | 藤田 俊雄 |
| 教育総務課副参事 | 小笠原 光則 |

(事務局員) 教育総務課主査 佐藤 正樹

平山委員長	<p>ただいまから、平成24年6月の教育委員会定例会を開会します。</p> <p>まず、この度、6月6日付けで武輪委員さんが新しく教育委員に任命され、今回が初めての定例会となりますので、武輪委員さんから一言ご挨拶をお願いいたします。</p>
武輪委員	(武輪委員挨拶)
平山委員長	続きまして、事務局職員の紹介をお願いいたします。
佐藤次長兼 教育総務課長	(事務局職員紹介)
平山委員長	(委員長挨拶)
平山委員長	<p>本日の議事録署名は岡本委員を指定します。</p> <p>それでは教育長から、主な会議・行事等について説明をお願いします。</p>
松山教育長	(資料に基づき説明)
平山委員長	<p>ただいまの説明につきまして、ご質問などありましたらお願いします。</p> <p>(質疑なし)</p>
平山委員長	<p>これより議事に入ります。</p> <p>本日提出されております議案を審議いたします。</p> <p>それでは、議案第24号「八戸市学校給食審議会委員の委嘱について」事務局から説明願います。</p>
齋藤学校教育課長	(議案第24号「八戸市学校給食審議会委員の委嘱について」に基づき説明)
平山委員長	<p>ただいま、議案について説明がありましたが、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。</p> <p>(質疑なし)</p>

平山委員長	<p>それでは、議案第 24 号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
平山委員長	<p>ご異議がありませんので、議案第 24 号を原案のとおり決定いたします。</p>
平山委員長	<p>次に、議案第 25 号「八戸市博物館協議会委員の委嘱について」事務局から説明願います。</p>
澤田博物館副館長	<p>(議案第 25 号「八戸市博物館協議会委員の委嘱について」に基づき説明)</p>
平山委員長	<p>ただいま、議案について説明がありましたが、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。</p> <p>(質疑なし)</p>
平山委員長	<p>それでは、議案第 25 号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
平山委員長	<p>ご異議がありませんので、議案第 25 号を原案のとおり決定いたします。</p>
平山委員長	<p>次に、議案第 26 号「八戸市公民館条例施行規則の一部を改正する規則の制定について」事務局から説明願います。</p>
船田社会教育課長	<p>(議案第 26 号「八戸市公民館条例施行規則の一部を改正する規則の制定について」に基づき説明)</p>
平山委員長	<p>ただいま、議案について説明がありましたが、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。</p> <p>(質疑なし)</p>
平山委員長	<p>それでは、議案第 26 号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>

平山委員長	ご異議がありませんので、議案第 26 号を原案のとおり決定いたします。
平山委員長	次に、議案第 27 号「八戸市学校給食審議会に対する諮問について」事務局から説明願います。
齋藤学校教育課長	(議案第 27 号「八戸市学校給食審議会に対する諮問について」に基づき説明)
平山委員長	ただいま、議案について説明がありましたが、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。
	(質疑なし)
平山委員長	それでは、議案第 27 号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。
	(異議なし)
平山委員長	ご異議がありませんので、議案第 27 号を原案のとおり決定いたします。
平山委員長	以上で、議案の審議は終わりました。 次に報告事項ですが、「平成 24 年 6 月八戸市議会定例会一般質問事項について」は、事前に資料が配布されておりますので、委員の皆さんから質問がありましたらお願いいたします。
岡本委員	10 ページの小型焼却炉についてですけれども、「老朽化が進みダイオキシンが飛散する可能性も」ということで、老朽化して、それがどういう場合に飛散するのかというところを特に教えていただきたいのですけれども、何も使わないのに朽ちていくとそれが飛び散ってしまうという意味でよろしいのでしょうか。
佐藤次長兼 教育総務課長	今、小型焼却炉はブルーシートで覆ったり、ロープで囲んだりして、児童生徒が近づかないような対策は取っておりますけれども、本体そのものが腐食して、ぼろぼろになってきております。そういうことで飛散する恐れもあるということです。
岡本委員	分かりました。ありがとうございます。 それからもう 1 つは、7 ページの肥満出現率のことで、市内の様子が分からなかったもので、担当の学校教育課から今見せていただいて、確かに数字的には多いということが分かりました。ライフスタイルの改善が重要ということですが、こ

<p>齋藤学校教育課長</p>	<p>のライフスタイルの改善というのは具体的にどういうことなのか。家庭の中のことをやはり考えていかなければならないということだと思っておりますけれども、具体的に何か実施していることがあれば教えていただきたいと思っております。</p> <p>まず、当市の子どもたちの肥満状況ですが、青森県は実は全国でもトップレベルといえますか、大変高い肥満発生率を示しております。その中でも八戸市は全国平均にはまだ若干余裕がありますが、青森県の平均に近づくくらいの値が出ているということです。</p> <p>その対策については、ライフスタイルという大枠でくくりましたけれども、原因の1つとしてはやはり運動不足、もう1つは食事を含む食生活です。そういう部分が大きな部分を占めているということで、運動不足については各学校を中心に、子供たちのいわゆる体力増強という部分を含めながら今指導しているところです。ただ食事に関しては、学校給食をお昼の1食として食べているわけですが、あとの2食は家庭で作るのがほとんどということで、やはり家庭を巻き込みながら、しっかり子どもたちの健康を支えていかなければならないという考えです。そのためには、やはり保護者への啓発が大事だと思います。今はさまざま、例えば、今日手持ちで持ってきていますけれども、こういうパンフレットが県から出されています。これは小学校下学年用、高学年用、それから中学校用ということで、全部の子どもたちに配布するというので県から頂戴しています。これも各家庭に配りながら、ただこれだけではまだ不十分なわけですので、いかにして日常の親への啓発をやっていくかという部分になりますが、今、学校保健委員会は、市内は小中合わせて92パーセントまで設置率が上がりました。これもそういう部分を踏まえながら、家庭への啓発を学校と一緒にやっていきたいと思いますという体制づくりを今進めているところです。これからそういう内容の充実等を図りながら、しっかりと子どもたちの健康を守る体制づくりを進めていきたいと考えております。</p>
<p>岡本委員</p>	<p>ありがとうございました。私も学校訪問にご一緒させていただきまして、ある中学校に行きましたら、眼鏡をかけている子が多いという感触を得まして、人数は小規模の学校だったのですけれども、かなりの率で眼鏡をかけているのはどうしてなのかとお聞きしたこともありました。そのライフスタイルということは確かに大事だと思いますし、今資料を頂戴して、それは幼児期にもずいぶん大きいという数値が出ておりましたので、是非幼児教育関係者にもお知らせいただきたいと思っております。癖がつくとだめだと思いますので、小さいときからということも大事なので、家庭のつながりでも幼小連携などもありますけれども、とかく生活習慣ということになりがちですけれども、そういう実態もお知らせしながら、是非連携をしていただければいいかと思われました。</p>

平山委員長	他にございませんでしょうか。
小柴委員	<p>こう見ますと、3人の議員さんから通学路の安全対策ということで、同じような質問が出ていました。これを見て、やはり皆さん通学路の安全対策についてはかなり関心を抱いているのだということを感じました。八戸の場合、学校、地域の皆さん、それから警察の方とかいろんな方々の協力によって、生徒の安全が守られていて事故もなく幸いだと思っております。これについては引き続き、指導のほうよろしくお願ひしたいというのが要望です。</p> <p>それから安全策をとると、意外とそれが落とし穴になっているケースもあるので、例えば車道と歩道をきちんと分離したら、車のほうがスピードを出すようになってしまったと、それで事故が起きたというケースもあるようです。そういう安全対策に、それで安心しないで、やはり常に人の目でもって安全を考えるというようなことを1つお願ひしたいと思います。</p>
平山委員長	はい、ありがとうございます。他にございませんか。
武輪委員	<p>今の小柴委員さんの通学路の話に関連して、私も質問させていただきたいと思ひます。3人の議員さんからの質問ですけれども、やはり通学路、子供たちの安全対策に関心がある議員さんもおありだなということに感心いたしました。答弁内容の中に、3ページ、9ページ、10ページとも同じような内容がございますが、この中の丸の4つ目の中に「市教育委員会では、5月に通学路の実態調査を実施」とありますが、具体的にこの実態調査というのはどのようなことをされたかお聞きしてもよろしいでしょうか。</p>
嶋脇教育指導課長	<p>4月末に文部科学省からの調査もあり、事故発生以来、市教委でもどのような状況であるのか把握したいということもあったので、各学校のほうにアンケート調査をいたしました。1つは、スクールゾーンがあるかどうか。それからもう1つは、子どもたちがここを通らなければならないという通学路の指定があるのかないのか。それからあともう1つは、集団登校をしているかどうか、ということのアンケートをしました。</p> <p>それで通学路に関しては、小学校では23校の学校がここを通りなさいという指定があるということでした。集団登校については7校の学校が集団で登校している。スクールゾーンについては、8校の学校からスクールゾーンがしっかりあるというのが小学校でございます。中学校のほうでは通学路、集団登校ともなし。スクールゾーンについては1校からあるという返事がきております。調べた結果は以上でございます。</p>

武輪委員	はい、ありがとうございました。
平山委員長	他にございませんか。
武輪委員	<p>もう1つよろしいでしょうか。1ページ目の「防災拠点施設へのエネルギーシステム導入事業について」という、震災後のことですので、大変興味深い話がありました。その中の答弁内容欄のところに、「事業期間は、今年度から平成27年度までで、地区公民館6館と小学校12校を予定している。今年度は、城北小学校及び白銀公民館の実施設計」とありますが、2004年度に江陽中学校と小中野中学校でこの太陽光パネルの設置があったということで、他の学校は存じ上げないのですが、既にこの2校には太陽光パネルがある。しかし、蓄電池がないために3月11日の震災のときも稼動しなかったということがあるのですが、その江陽中学校、小中野中学校は、この小・中学校の12校の中に含まれているのか。また、この後にこの2校に関して蓄電池を市として設置する予定があるのかどうかということと、この城北小学校と白銀公民館が今年度実施設計に選ばれた理由としては、どういうことが挙げられるのかをお聞きしたいと思います。</p>
佐藤次長兼 教育総務課長	<p>まず、小・中学校12校の中に小中野、江陽が入っているかどうかということですが、これは入っておりません。これは国の補助金を財源としておりまして、これには八戸市に6億円という枠がございます。その6億円の中で実施できる施設ということで逆算して18施設という数が決まっております。その考え方は中学校区に1つということで、教育委員会のほうから学校を推薦して、防災担当部局のほうで公民館と調整して18箇所を決めております。小中野中学校、江陽中学校にこの事業では設置しないのですが、この後設置するかどうかということについては、まだ具体的な計画はございません。その6億円の枠の中で、もしお金が余れば追加で蓄電池を設置するという事も考えられるとは思いますが、まだ具体的に話題には上っておりません。</p>
船田社会教育課長	<p>少し補足ですけれども、この国の補助要件の中で、太陽光と蓄電池をセットでやりなさいという補助要件があるので、蓄電池設備だけを付けるというのはちょっと難しいので、この事業ではできないことになっております。NEDOの実証実験でやった小中野中、江陽中は既に太陽光パネルがあるんですけれども、それに蓄電池だけを追加して工事するというのは当事業ではできません。また新たな国のいろんな事業が出た場合は想定されるかもしれませんが、今年度から27年度間には、お金が余ったとしても残念ながらできないと思います。もし余った場合は、18箇所というくくりでやっていますけれども、中学校区がもう少しあ</p>

	りますので、漏れた学校のほうに順次拡大できるのかなと思います。
武輪委員	ありがとうございました。
平山委員長	私からも1つ質問したいと思います。8ページに震災後の防災教育の取組状況と出ておりますが、答弁の1行目に「津波を想定した訓練」とありますが、これは何度ほど実際に行なっているのかお知らせください。
嶋脇教育指導課長	具体的な校数までは、把握しておりませんでした。
平山委員長	いつあるか分からないことですので、そのうちに実態把握をお願いしたいと思います。
四戸次長	今ここで「津波を想定した訓練」というのが出てきたのは、例えばある小学校では、校庭に避難するのではなくて、階上4階のほうに全部の子どもを実際に上げてみた、そのような実例を把握してございましたので、そういう意味でここに載せてあるということでございます。
平山委員長	これは浜地区といいましょうか、浜に面したほうでは、ほとんど全部なさっていることでしょうか。
松山教育長	関連してよろしいでしょうか。小中野中学校地区では地域の方々と一緒に津波を想定して、第一次避難所それから第二次避難所という形で想定してやったという話も報告されております。そのような意味で津波想定地域の学校は、形の違いはあれど確実にやっているということです。
平山委員長	はい、わかりました。確実にというところが大事で、時間が経っても風化しないようにという意味で申し上げました。 それから5ページでございます。答弁の後半のほうに「4月に行われた市立学校長会議で、市長から」という話がありましたが、このことは私たちみんな、私を含んで、重く市長さんの言葉を受け止めて、下から2行目に書いているように、「現状と課題を的確に捉えて」というところは、本当にやっていかなければいけないのだということを確認しておきたいと思ったのです。市長さんはあのように優しい言い方をしてくれますけれども、それを重く受け止めるというところを確認しようと思って今申し上げました。
平山委員長	それでは次に、「平成24年度『南部藩ゆかりの都市との交流事業』について」

<p>鳴脇教育指導課長</p>	<p>報告を受けることとします。</p> <p>(資料「平成 24 年度『南部藩ゆかりの都市との交流事業』について」に基づき説明)</p>
<p>平山委員長</p>	<p>ただいまの報告につきまして、ご質問などがありましたらお願いします。</p> <p>(質疑なし)</p>
<p>平山委員長</p>	<p>ないようですので、その他事務局から報告事項はありますか。</p>
<p>平山委員長</p>	<p>事務局からは以上のようなようです。</p> <p>それでは最後に「その他」ですが、委員の皆様から何かございますか。</p>
<p>平山委員長</p>	<p>私から少しお尋ねしたいのですが、小学校で昨年、学習指導要領の完全実施がなされまして1年間やったわけですけれども、その成果と課題というのはどの辺にありますかということをお尋ねします。</p>
<p>四戸次長</p>	<p>今まとまったものは用意してございませんが、昨年度全面実施して、各学校を教育指導課長として訪問してお話を伺ったことで思い出してお話をすれば、学習指導要領の今回の改訂の目玉は、まず基礎基本の重視ということと、言語活動の充実というようなことがあるわけですけれども、各学校とも言語活動の充実ということにつきましては、学校目標や校内研修の研究テーマ等に取り上げている学校が大変多かったということがございます。それを取り上げて、授業にもその点を意識して取り入れて、取り組んでいる授業が多く見られたということがあります。ただ内容につきましては、まだまだ国語を中心としていて、例えば話し合いだとか、発表だとかというところで留まっている部分が多いのかなと。やはり言語活動の充実というのは、国語以外でも全教科、全教育活動を通して取り上げていくということがありますし、単純に発表や話し合いだけではなくて、例えば算数なり社会科なり他の教科であっても、これこれこういう理由で私はこう思いますとか、算数でも答えをただ数字で答えるのではなくて、ここにこういう線があって、この線とこの線を足すところになりますとか、そういう本来の言語活動ということへの取組という意味では、まだ取り組んだばかりですので、今後の課題だと思います。この辺につきましては、また今年度、訪問等を通して、指導主事が各授業を見ながら当然指導して参るということになるかと思えます。</p> <p>またもう1つは、教科書がだいぶ厚くなりました。授業の時間数も増えているのですが、その時数が増えた割合よりもページの増え方の割合が大きいとよく言</p>

	<p>われております。年間指導計画等も新しく作らなければならなかったわけですが、その進み具合で、途中ちょっとこれだと全部終われないとか、そういう軌道修正もあったと思いますし、そういう話も聞いてございます。これについては、昨年度1年間新しい教科書に基づいて授業をしておりますので、当然今年度はその辺は見直しをかけて計画しているわけですので、段々これも改善が図られていくものと思っております。</p> <p>あと成果としては、まだこれから出てくるものであろうかと思っておりますので、今気が付いたのはそれくらいです。</p>
平山委員長	<p>はい、ありがとうございました。算数等の話も出てきましたが、授業となりまずと教育センターの所長さんは、この辺どうでしょう。</p>
井上総合教育センター所長	<p>前年度小学校が完全実施されて、今年度は中学校が完全実施ということで動いていますけれども、八戸市の場合、まず子どもたちが学習する土台となる学校を地域とともに作っていくと。秋田県の学力も地域が学校を支えているというところが、先生方が授業する上で非常に大きいところかなと。そういう面で地域密着型教育を今進めてきているというのが非常に学校にとっても大事になっているというのが感じられて、学習指導要領が変わったからというよりも、八戸市が目指してきたところに国のほうも動いていると感じているところです。</p> <p>それから先生方が組織として、学校として子供たちを育もうとしている。そういったところが今回の指導要領の改訂に関わらず、取り組んできたことが実っているということで、引き続き、変わったからというよりも、それらを校長先生方を中心にしながら学校が先取りして、しっかり動いてきているところを市教委としても支えて行く必要があるというところで、まずは研修の充実ということで、各職責に合った研修をしっかりと行なう。校長研修、教頭研修、教務主任研修、それぞれ生徒指導であるとか、校内研修であるとか、それぞれの持ち場に応じた研修を行って組織を活性化していく。それから授業そのものを支える子ども理解ということがものすごく大事になりますので、その子ども理解を支えるという意味で、3年間で全部の先生方に特別支援教育を既定に置いた子ども理解を進めるための研修を行うということで取り組んでおります。また、次長からもありましたけれども、算数、国語以外の力をつけるということで、授業力アップ講座として、今年度から理科と社会を取り入れて行なっております。</p> <p>さらに、ICTを活用した授業ということで、昨年度末ありがたい寄附がありましたので、寄附を活用して全部の小・中学校に実物投影機及び書画カメラを入れ、また秋には2クラスに1台を目処にそういった機器も充実させる。中学校のコンピュータ教室のコンピュータを3年かけて取り替えていくというような、そういった機器面での充実を図りながら、学校を支援していきたいということで取</p>

	<p>り組んでいるところです。</p> <p>一部、点数が上がったり、下がったりというところで、市民の皆様には心配をかけているところはあるかもしれませんが、市全体としての取組を指導要領の改訂に関わらず、しっかりとした足並みで教育を行なっているのではないかと感じているところです。引き続き、学校を支援していきたいと考えております。</p>
平山委員長	<p>はい、ありがとうございました。あと1つ、「いのちの教育」を基底に学校経営を云々と市教育委員会は標榜してきましたが、学校がその「いのちの教育」を基底に経営しているというチェックポイント、これはどういうところでチェックポイントとして行なっているか教えてください。</p>
四戸次長	<p>昨年度、一昨年度、私のほうで訪問した際には、特別この部分でチェックポイントを設けてというようなことでは訪問はしておりませんでした。学校訪問した際の校長等の説明の中に、それに関係する部分、例えば小学校であれば動物飼育のことですとか、中学校であれば命を育むのところであるとか、あるいは道徳教育、教育活動全般を通して、そのようなところが出てくるかこないか、そんなところで話を伺っておりました。</p>
平山委員長	<p>今年もそれを標榜しておりますので、その内、やはり検討しておく必要があるのではないかと今話題にしました。</p>
松山教育長	<p>「いのちの教育」ということは私のほうから言い始めて、ずっとやって参りました。今年、きちんと明文化して各学校におろしたというお話をしましたけれども、チェックポイントという話もありましたけれども、さまざまな場面でいろいろあるとは思いますが、その中の1つは、いろんな各種調査、アンケート調査の中での自尊感情、自己有用感といいますか、自分が自分であると、存在する意義があるのだという感覚を持つ子どもたちを作りたい。そういう有用感を持つためには、そういう場を与えなければならない。私は居場所と出番を作っておけるという話をしているのですけれども、そのようなアンケートなどで、そういう自己有用感といいますか、自分は自分でいいんだ、いいところがあるんだということを上げていきたいということ。これは目に見える形です。</p> <p>それから前にもこの場でお話をしましたけれども、「いのちの教育」ということを突き詰めていくと、やはり一人一人を大事にすることであると。先ほど次長、それから所長からも話がありましたけれども、特別支援の視点で、子どもたち一人一人に目を向けていくのだということ。これは、私は新しい学習指導要領が出る出ないに関わらず、ずっと八戸でやってきたことだし、そういう点では進めてきている。ただ、今委員長がお話したように、市民の方々にきちんと説明できる</p>

<p>平山委員長</p>	<p>ような形でのチェックポイントなり、そういうことは必要かと思っておりますので、もっと明確な形でできるように努力はしていきたいと思っております。</p> <p>はい、ありがとうございました。4月に配ったものの中に、「いのちの教育」についてというプリントが入っておりますが、これはどういう教育用語辞典を基に作られたものですか。後ほど結構です。私も調べてみまして、もう少し分かりやすいものがあったものですから。</p>
<p>竹花教育指導課 指導主事</p>	<p>昨年度作るときに、前任の大塚グループリーダーが中心だったのですが、私も入っておりましたのでお話しします。山形の教育委員会ですとか、兵庫の教育委員会ですとか、そういうところの資料を参考にしながら、あとは東海大学の近藤先生という方が「いのちの教育」ということで何冊か本を書かれておりますので、その辺をいろいろ見ながら、より分かりやすい形でシンプルにということ、そういう形にまとめたということをお伝えしておきます。</p>
<p>平山委員長</p>	<p>希望を言いますと、どういう背景でこれが言われて、原初が何なのか。何の理由があつて、背景、なぜ、何、という順序があれば、もっと分かりやすいかと思つて読んでいました。私も今たまたま調べたもので、少し言おうかと思つていました。次長さんにもお話ししましたが、もし必要であれば差し上げますので。とにかく現場が分かりやすければいいわけだから、そういう角度でお願いしたいと思つています。</p>
<p>小柴委員</p>	<p>今、分かりやすいというお話が出たのですが、昨日ある学校の学校訪問にご一緒させていただきました。その際に感心することがいっぱいありましたけれども、1つは自分にはなかったことだということですが、字がすごくきれいだし、先生方の表情が豊かだということ。私は高校にいたので、その辺は完全に抜けていたということを反省させられました。何か脅迫しているみたいな授業をしていたなということを感じました。</p> <p>もう1つは、1番感心したことは、努力目標が実に分かりやすい。それは、相手の話をよく聞くようにしましょう、そういう態度を身に付けましょう、ということが掲げられていました。それは、先生方はもちろん、生徒にも非常に分かりやすい。保護者も分かりやすい。しかも今の人間にすごく欠けている。大人もよく話が聞けない場面が多々見られる。学校目標は、やはり知徳体を網羅しなければならないということがあるからやむを得ないとしても、各学校で何かこれは1つやってみようという分かりやすい目標があつてもいいのではないかと。これは非常に良いことだということを感じさせられました。この学校の生徒さんは、他の事は知らないけどよく挨拶をしてくれるとか、靴を脱げばきちんと揃えていると</p>

か、あるいは八戸出身の子どもはこういうところがきちんとしているとか、そういうことがあってもいいのではないかということ、昨日学校訪問をして感じさせられました。

それから2つ目ですが、最近つくづく感じたことだったのですが、具体的に何があってこういうことを感じたということはあまりないのですが、たまたま私が知り合いになっているご両親、家庭ですか、何人かいらっしゃるのですが、高校生がいます。いろいろ話しているとやはり結構大きな悩みを抱えている。一見それは端から見ると全然そういうことはないだろうと思っていたのですが、実は結構大きな悩みを抱えている。私がたまたま触れたご両親、家庭は高校生だったのですが、これは小学校、中学校でも同じなのではないか。ちょっと立ち入ると結構な悩みを抱えているだろうなど。高校生でいえば、有名大学を終わったのだけれども、その後がうまくいってなくて、それが悩みだとか。そういうことで、やはりそのことに先生方なり教育委員会が、十分タッチしていただいているとは思いますが、1つお願いしたい。最終的には皆さんも経験があるとは思いますが、例えば私でいえば、中学校の頃、今でいう調べ学習ですか、自分で調べて、これこれをやりなさいとかということ。それがすごく楽しい授業でした。それから高校生になって、私はもともと文系で、実際は数学を教えたのですが、文系でありながら数学をやりたいということで、3年生のときに自分で数Ⅲを勉強しました。それがまた楽しかったです。10やら無ければならない分のその幾つ自分でできたかは分かりませんが、でも数学の面白さはそれで体験できた。実に楽しかったなということは今でも覚えております。したがって、感じたことというのは、やはり子どもたちの最終目標としては自立を促すこと、それが非常に大事なことになるのではないかと感じました。

平山委員長

とても良いお話で終わりにになりました。

他にございませんか。

それでは、今日の定例会はこれで終わりにします。ありがとうございました。

(午後2時32分終了)